

2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年6月11日

上場会社名 株式会社pluszero 上場取引所 東
 コード番号 5132 URL https://plus-zero.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼CEO（氏名） 小代 義行
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 浅川 耀佑（TEL） 03-6407-0212
 （代表）
 半期報告書提出予定日 2025年6月11日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト、個人投資家向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	797	37.0	290	105.4	290	105.5	189	352.4
2024年10月期中間期	581	41.3	141	82.7	141	83.0	41	△19.3
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年10月期中間期	24.53		23.37					
2024年10月期中間期	5.51		5.13					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	1,660	1,336	80.4
2024年10月期	1,413	1,127	79.8

（参考）自己資本 2025年10月期中間期 1,336百万円 2024年10月期 1,127百万円

（注）2024年10月期決算短信〔日本基準〕（非連結）にて公表の総資産は1,415百万円となっており、上記2024年10月期総資産1,413百万円と間に2百万円の差額が生じております。これは、決算短信公表後に、流動資産と流動負債の相殺を行ったことによるものであります。これによる純資産及び損益計算書への影響はございません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

業績予想に関する序文

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	35.4	550	119.4	550	119.0	382	148.7	49.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年10月期中間期	7,766,622株	2024年10月期	7,669,020株
2025年10月期中間期	303株	2024年10月期	303株
2025年10月期中間期	7,742,155株	2024年10月期中間期	7,619,838株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

発行済株式数に関する注記

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間貸借対照表	6
(2) 中間損益計算書	8
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	9
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

①経営成績の状況

当社はAIを中心としてIT・ハードウェア等の各種テクノロジーを統合的に活用したソリューションを提供する「ソリューション提供事業」を展開しております。当社の「ソリューション提供事業」は、提供形態に基づいて、「プロジェクト型」と「サービス型」に分類しております。

大分類	契約形態	ビジネス概要	
プロジェクト型	請負契約 準委任契約	顧客の経営問題の解決や課題の達成のための相談と具体的なサービス・システム的设计・開発・保守運用までをワンストップで提供	<ul style="list-style-type: none">顧客の要求仕様を満たすサービス・システムをプロジェクト単位に契約して契約の期間内に納品顧客の経営問題に対して中長期的に向き合いながらエンジニアやコンサルタントの稼働やノウハウを安定的に提供「サービス型」に付随して発生する開発の実施及び関連事業・サービスの立上支援
サービス型	ライセンス 供与契約	「仮想人材派遣」関連技術に関する技術情報の提供や開発ライセンス・利用ライセンスの供与	

「ソリューション提供事業」は、当中間会計期間(2024年11月1日から2025年4月30日)時点では「プロジェクト型」で獲得したキャッシュフローを源泉として、当社の独自コンセプトであり、特定ジャンルに限定することによって、機械が人間のように意味を理解できるようになることを目指す技術であるArtificial Elastic Intelligence(AEI)に関する研究や、AEIを活用し、高い収益性を持つ「サービス型」への継続投資を行っております。

当中間会計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、当社の所属する業界においては、AI等の最新技術への関心が益々高まっており、製造業顧客及び情報通信業顧客向けのソリューションの提供を中心にプロジェクト型の契約件数等が堅調に増加した結果、売上は順調に推移いたしました。また、当中間会計期間より、「AEI」を活用した“コールセンター向け高信頼性AIエージェント”「mirai0」の販売を開始いたしました。その他、AEIを使用したライセンスの供与、関連事業・サービスの立上支援、API化したAEI基礎技術の提供等のサービス型の役務提供を実施しており、研究開発の商用化を順次図っております。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は797,023千円(前年同期比+37.0%)、営業利益は290,443千円(前年同期比+105.4%)、経常利益は290,977千円(前年同期比+105.5%)、中間純利益は189,881千円(前年同期比+352.4%)となりました。なお、当社の事業セグメントはソリューション提供事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

i. 流動資産

当中間会計期間末における流動資産は1,389,203千円となり、前事業年度末に比べ218,193千円増加いたしました。これは主に、売上の増加に伴い、売掛金及び契約資産が89,427千円増加、現金預金が137,708千円増加したことによるものであります。

ii. 固定資産

当中間会計期間末における固定資産は271,763千円となり、前事業年度末に比べ29,765千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定34,643千円の増加があったことによるものであります。ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定に関しては、当社の研究開発活動である仮想人材派遣の一部について将来の収益獲得が確実になったことに伴い、その中核技術であるN4及びPSFの一部につき、資産計上を行っ

ております。

上記の結果、総資産は1,660,967千円となり、前事業年度末に比べ247,958千円増加いたしました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は324,780千円となり、前事業年度末に比べ39,741千円増加いたしました。

主な増加要因は、事業拡大に伴う未払法人税等の増加53,221千円、人員等増加に伴う未払費用の増加8,577千円等によるものであります。一方で、未払金が22,920千円減少しております。

この結果、負債合計は324,780千円となり、前事業年度末に比べ39,741千円増加いたしました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,336,187千円となり、前事業年度末に比べ208,217千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ9,167千円増加したこと、中間純利益の計上により利益剰余金が189,881千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末から137,708千円増加し、1,038,902千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、その主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動により獲得した資金は191,226千円(前中間会計期間は70,933千円の獲得)となりました。

主な増加要因は、売上規模拡大による税引前中間純利益の獲得290,977千円、ソフトウェア資産計上に伴うソフトウェア償却額31,612千円等によるものであります。

一方で、主な減少要因としては、売上債権の増加額91,700千円、法人税の納付による減少43,525千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動により支出した資金は、71,854千円(前中間会計期間は45,116千円の支出)となりました。

これは、当中間会計期間においてソフトウェアの取得による資金の支出が71,854千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動により獲得した資金は、18,335千円(前中間会計期間は24,012千円の獲得)となりました。

これは、新株予約権行使による新株発行による収入があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2025年10月期の業績予想」に記載のとおりでございます。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当中間会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	901,194	1,038,902
売掛金及び契約資産(純額)	249,973	339,400
前払費用	19,063	9,805
その他	778	1,095
流動資産合計	1,171,010	1,389,203
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,341	6,075
工具、器具及び備品(純額)	650	488
有形固定資産合計	6,991	6,563
無形固定資産		
ソフトウェア	135,583	118,968
ソフトウェア仮勘定	14,045	65,304
無形固定資産合計	149,629	184,273
投資その他の資産		
投資有価証券	3,152	3,152
繰延税金資産	72,448	68,098
その他	9,776	9,676
投資その他の資産合計	85,377	80,927
固定資産合計	241,998	271,763
資産合計	1,413,009	1,660,967

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当中間会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	34,097	11,177
未払費用	153,496	162,074
未払法人税等	43,524	96,745
預り金	13,536	15,287
未払消費税等	39,929	37,895
受注損失引当金	390	-
その他	63	1,600
流動負債合計	285,038	324,780
負債合計	285,038	324,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,680	34,848
資本剰余金		
資本準備金	114,780	123,948
その他資本剰余金	670,565	670,565
資本剰余金合計	785,346	794,513
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	317,037	506,918
利益剰余金合計	317,037	506,918
自己株式	△93	△93
株主資本合計	1,127,970	1,336,187
純資産合計	1,127,970	1,336,187
負債純資産合計	1,413,009	1,660,967

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
売上高	581,616	797,023
売上原価	229,607	326,222
売上総利益	352,009	470,800
販売費及び一般管理費	210,636	180,356
営業利益	141,372	290,443
営業外収益		
受取利息	2	357
受取配当金	198	-
雑収入	45	176
営業外収益合計	247	533
経常利益	141,620	290,977
特別損失		
投資有価証券評価損	48,647	-
特別損失合計	48,647	-
税引前中間純利益	92,972	290,977
法人税、住民税及び事業税	54,182	96,746
法人税等調整額	△3,178	4,349
法人税等合計	51,003	101,096
中間純利益	41,968	189,881

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	92,972	290,977
減価償却費	459	528
ソフトウェア償却費	12,860	31,612
投資有価証券評価損益(△は益)	48,647	-
売上債権の増減額(△は増加)	△61,693	△91,700
前払費用の増減額(△は増加)	△8,173	9,258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,693	2,273
未払金の増減額(△は減少)	△10,879	△22,920
契約負債の増減額(△は減少)	7,150	1,600
未払費用の増減額(△は減少)	4,597	14,175
預り金の増減額(△は減少)	1,723	1,751
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,483	△2,034
その他	164	△1,127
小計	107,006	234,395
受取利息及び受取配当金	201	357
法人税等の支払額	△36,275	△43,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,933	191,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△45,116	△71,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,116	△71,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	24,012	18,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,012	18,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,828	137,708
現金及び現金同等物の期首残高	762,481	901,194
現金及び現金同等物の中間期末残高	812,310	1,038,902

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間会計期間(自2024年11月1日 至 2025年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。